



# 議会だより だいせん

25号  
2011年7月28日発行  
鳥取県大山町議会



特集！ in 子育て支援センター

15

議会報告会 町長の回答

14

10人が一般質問

5

6月  
定例会



# 何が決まったの？

## 6月議会

6月定例会は、6月9日から6月23日までの会期で開かれました。  
また、一般会計補正予算など、4議案を原案通り可決し、陳情1件を採択しましたので、要約してお伝えします。

議案第80号	一般会計補正予算（第3号）	可決（賛成17人）
議案第81号	診療所特別会計補正予算（第1号）	可決（賛成17人）
議案第82号	国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決（賛成17人）
議案第83号	索道事業特別会計補正予算（第1号）	可決（賛成17人）
陳情第10号	中学校で使用する新しい教科書の採択に関する陳情	採択（賛成15人）

※採決は議長を除く17人で行いました。

# チェックします！ 議案質疑

質疑とは、予算案や条例改正案などの疑問点に対して、詳しい説明を求めることです。あくまでも目的は、問いたですることなので、自分の意見を述べることはできません。

**【教育長】**

①子どもの体力向上支援として、放課後の運動遊びを推進する。  
②県に希望を出していたが、本町がこの事業に選ばれなかったため。  
③遠藤家住宅、東南門脇家住宅、東門脇家住宅。

**【野口議員】**

①放課後子ども運動遊び推進事業の内容は。  
②未来を拓くスクール教育推進事業が減額の理由は。  
③登録文化財修理補助金が使われる登録文化財は。

## 教育

**【大森議員】**

住宅リフォーム助成の申請状況と制度の評価は。  
5月末で134件の申請があり、当初予算全額が使われる。6月に入ってからすでに70件を超え、補正予算を計上。  
当初予算1000万円の助成で、1億2000万円の事業を町内業者が請けた。  
助成は面白い物券なので、助成額分も町内で利用され、効果が大きい。

## 住宅 リフォーム

**【建設課長】**

①豪雪の影響で倒れた木や竹を処理する。  
②2級河川は県が管理しているの、県に要望している。  
③県が順次進めているが、数が多いので、危険な場所や急ぐ場所から作業を行っている。

## 倒木

**【西尾議員】**

①エコツアーリズム国際大会負担金の内容は。  
②放課後子ども運動遊び推進事業で、県が本町を選んだ理由は。  
**【観光商工課長】**  
①主会場を大山や皆生、境港に予定して2013年に大会を誘致する。今年度は準備委員会の費用と、誘致活動費用を見込んでいる。  
**【教育長】**  
②熱心に取り組んだからだと考えている。指導者に恵まれたのも理由の一つ。

## エコ ツーリズム

**【教育長】**

①今の指導員とは別の人をお願いする。  
②他校の放課後児童クラブに比べ、人数が多いため。  
③教員免許を持っていない人を予定しており、安全面も考えている。

## 放課後 児童クラブ

### 追加

太陽光発電等導入促進事業 補助金 **358万円**



大山町内に居住しているか、居住する予定があり、住宅に新たに太陽光発電システムや省エネ設備などを設置する個人が対象の補助金。賃貸の場合は、所有者の同意があれば可。

### 追加

住宅リフォーム資金助成金 **1000万円**



工事は対象は、5万円以上の個人住宅の改修等を町内業者に発注するもの。発注する工事額の15%（上限15万円）を町内の加盟店で使用できる「お買い物券」で助成。

陳情の件名	陳情者等	委員会の意見	付託委員会名	委員会審査結果
中学校で使用する新しい教科書の採択に関する陳情	教育を考える鳥取県民の会 代表 草瀬宣輝	改正教育基本法および新学習指導要領の趣旨を十分にふまえた、公正かつ適切な教科書採択を求めているものである。	教育民生常任委員会	<b>採択</b> 賛成4人 反対1人

※採決は委員長を除く5人で行いました。

## 討論

**【反対：大森】**  
議会の権限に属さないものは採択というルール。教育基本法自体が反対を押し切ったの改正であった。陳情者が持参した教科書の内容が、憲法に合っていない。  
**【賛成：杉谷】**  
法律にそった教科書を選んでほしいという当たり前の内容。教育基本法も賛成多数で改正されている。  
**【反対：西山】**  
法律を守っている人に法律を守れないのは失礼な話である。  
**【賛成：近藤】**  
思想・信条が違ふという理由で、偏った見方をすべきではない。出された陳情を素直に審査すべき。



## 教育民生常任委員会

6月13・14・15日に所管の事務調査と現地視察

### 地域ぐるみの子供読書

地域ぐるみの子供読書活動推進事業は、国の委託事業に応募し全国で約10件の中選ばれた。祖父母の読み聞かせ講座や乳幼児の本とのふれあいを家庭に働きかけ、家族での図書館利用を促す。読書・図書館だよりの発行等を計画している。

学校教育課

### 放課後子どもの運動遊び

子どもたちが集まる場（児童クラブ）に指導者を派遣し、児童の運動時間の増加をはかり、運動の喜びを知るなかで、児童の運動習慣の定着や家庭での運動の必要性を理解させる。

幼児教育課

### スポーツしょうい大山

会員数は35人、年齢構成は50歳以上が半数で、ボウリング・ウォーキング・バトミントン・ニュースポーツなどを行っている。現在は事務局を社会教育課に置いているが、将来的には会員で事務局の運営をお願いしたい。

社会教育課

### 子育て支援センター

現在は、名和のふれあい会館で保健課・教育委員会と連携し、育児学級・すくすく広場・育児相談など各種の事業を行っている。なお、来春には新しく2つの子育て支援センターが、大山・中山に建設される拠点保育所の中に併設される。

福祉介護課

### 健康診断の受診率向上

休日健診（検診）は町全体で年1回実施していたが、今年は年3回（各地区1回）に増やした。さらに、保健推進員活動を支援することで、町民の健康づくり意識を高め、受診率の向上をはかる。

保健課

### 町内視察

中山公民館、中山小・中学校、中山拠点保育所建設地、図書館本館、名和クリーンセンター、名和地区の保育所、名和小学校、名和拠点保育所建設候補地など、委員会が担当する分野の施設などを視察し、現状と課題を調査。

## 経済建設常任委員会

6月13・14日に所管の事務調査と現地視察

### 住宅リフォーム助成

住宅リフォーム資金助成金を補正予算に計上している。町内業者に工事が発注され、助成金は町内で利用できるお買い物券のため、経済波及効果が大きい。当初予算分は5月末で申し込みが上限に達しており、6月も申し込みが続いている。

観光商工課

### 地下かんがいシステム

地下かんがい水田モデル整備事業負担金を補正予算に計上。湿害と干ばつに強い畑作を水田で行うために、かんがい（人工的に水を供給すること）を地下から行うシステム整備の事業。この事業で、プロックリーの生産拡大を進める。

農林水産課

### 分譲宅地

平成22年度から分譲開始の大山口駅前団地は、大好評で残り1区画のみとなっている。また、御来屋の分譲宅地は1区画が売れ、全区画分譲完了となった。ナスパルタウンも毎年分譲が進んでおり、分譲区画はあと36区画となっている。

建設課

### 徴収率

平成22年度分の水道使用料の徴収率は、水道98.3%、下水道99.5%となっている。そのほか、現状の問題点や課題をもとに、町内の上下水道網や関係施設の、今後のあり方を議論した。

水道課

### 農業委員選挙

農業委員の任期3年の満了にともない、7月に農業委員の選挙が行われる。旧町ごとに選挙区が分かれており、それぞれから8人が選ばれる。合計24人の委員と、そのほかに選任委員を合わせ、新たな体制となる。

農業委員会事務局

### 町内視察

豊房にある清水原の畑作の現状、赤松集落に隣接する民間の分譲地など、委員会が担当する分野の現地視察を行い、現状と課題を調査。

# 委員会報告



議会では、より詳しい審議をするため、3つの常任委員会を設置し、担当を分けた活動も行っています。委員会の様子は、ケーブルテレビで生放送が行われていますが、不定期で録画したものを放送しています。また、本会議と同様に、委員会の傍聴もできますので、ご希望の方は議会事務局までお問い合わせください。

大山町議会事務局 0859-54-5213

【平成22年9月議会の総務委員会の様子】

## 総務常任委員会

6月13・14日に所管の事務調査と現地視察

### 駐車場用地

名和小・名和中の行事の際の駐車場用地を取得予定。場所は名和中正門近くから名和小グラウンド西側にかけて。また、8月から内閣府の職員が企画情報課に派遣される。総合計画・行財政改革の町政立案の室に配属予定。

総務課

### 電気自動車

デマンド方式の公共交通で使用する電気自動車に、冬季の運行で心配があり、再度検討するよう求めた。太陽光発電等導入促進事業は8件分と省エネ3件分の予算を補正する。

企画情報課

### 徴収改善

新たな滞納を出さないように努めた結果、現年分の滞納額が前年に比べ、約1000万円減少。過年度分の滞納額も、約170万円減少した。

税務課

### グリーンカーテン

中山農村環境改善センターにキッズスペースを整備する。大山支所では窓口にベビーベットの設置する。また、南向き窓の対策にグリーンカーテンを試験育成する。

総合窓口課

### 人権尊重

新町になってから町内で発生した差別事象の説明を聞いた。今後も人権尊重に努めるよう求めた。

人権推進課

### 町内視察

町有地（遊休地）の現地視察をした。宅地分譲や工業誘致が可能な土地もあり、区画・価格を見直して再度公募するよう指摘をした。



# あなたの声を町政に

## 一般質問

6月20日～21日

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育委員長などの方針を問うものです。

大山町は1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、臨場感ある、本会議場での傍聴をお待ちしています。

議事録は議会事務局やホームページで閲覧できます。

## 吉原議員 森林管理と問題点は？

## 町長 森林組合と保全に努める



〔吉原〕大山町の約60%を占める森林は、水道水源林を守り、土砂災害の対策や温室効果ガスの吸収で重要な役割がある。しかし、木材産業は衰退し、森林資源は底値で売られている。漁業にも影響をおよぼす森林管理の現状と問題点は、

〔町長〕木材価格の低迷を受け、間伐、枝打ちなど適切な管理がされず、下草も全く生えていない山林が増加している。このため、雨が降ると表土が流れ、沿岸漁業にも悪影響を及ぼしている。また、財産としての価値も薄れ、山林の売買には許可制度がないため、外国資本などによる買収が問題となっている。

セコ町では、地下水利用、森林伐採などの開発を規制する条例が検討されているが、本町でも考えてはどうか。また、大山町産材の地産地消をめざして、二世帯住宅に独自の補助事業を検討しては、

〔町長〕森林保全は、森林組合と連携したい。町産材の地産地消は、県の補助事業を活用したい。



森林は地球の財産

## エネルギー

## 政策に変更は？

竹口議員

## 町長 今後も同様に取り組む

〔竹口〕大山町での自然エネルギーに関する政策に変更はないか。

〔町長〕現在の制度を中心に今後も取り組む。

〔竹口〕原子力発電に対する考えは、

〔町長〕福島原発事故後、安心安全が担保できていない。原子力発電全般の見直しと代替エネルギーの取り組みが急がれる。

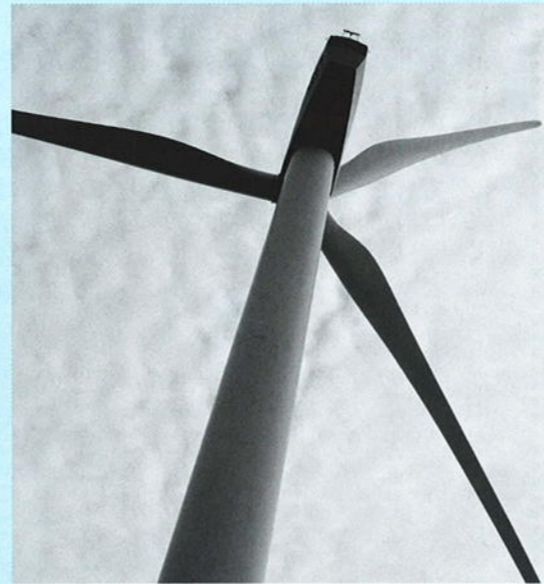
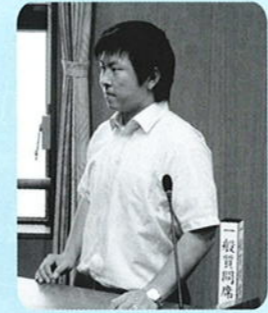
〔竹口〕役場での省エネの取り組みは、

〔町長〕休憩中の消灯、会議資料の削減、ペレットボイラーの導入、室内照明のLED化など。

〔竹口〕町内で省エネを推進するのか。

〔町長〕広報などでも周知し、町民一丸となって取り組みを進めていきたい。

〔竹口〕太陽光発電



自然エネルギーのシンボル（風力発電）

子力発電全般の見直しと代替エネルギーの取り組みが急がれる。

〔竹口〕役場での省エネの取り組みは、

〔町長〕休憩中の消灯、会議資料の削減、ペレットボイラーの導入、室内照明のLED化など。

〔竹口〕町内で省エネを推進するのか。

〔町長〕広報などでも周知し、町民一丸となって取り組みを進めていきたい。

〔竹口〕太陽光発電

の設置費補助金は、周辺自治体に比べて大山町の補助金額が少ないが、増額する考えは、

〔町長〕検討する余地はある。

〔竹口〕日吉津村や伯耆町で太陽光発電を設置すると、補助金で30万円以上得る。定住先の候補として大山町が選ばれにくくなるのでは。

〔町長〕周辺自治体の状況を調査し、今後の検討課題としたい。

## 竹口議員 避難場所は大丈夫か？

## 町長 現在のところ問題はない

〔竹口〕想定外の災害が起こった時、どのようなにして身を守るべきなのかは、今もつとも心配されていることだと思ふ。

町が指定している避難場所の問題はないか。

〔町長〕町が指定している避難場所は、地震でマグニチュード7.4、震度6強、津波で沿岸部の最大潮位を1.5mと想定して指定している。現在のところ問題はない。

と考えている。

〔竹口〕海から近い小中学校で、津波を想定した避難訓練は行われているか。

〔教育委員長〕旧光徳小学校では行っていたが、現在はいずれの学校でも実施していない。今後、実施する予定の学校は2校ある。津波が予想される地域の学校には、登

下校中の避難などの指導も検討していく必要がある。

〔竹口〕津波が発生した際、保育所の対応は決められているか。

〔教育委員長〕海岸に最も近い光徳保育所で定めている。東日本大震災の発生をうけて、3月のうちに津波を想定した訓練を行った。



総合防災訓練での本部会議



### 説明は正しいか？

**米本議員**

【米本】 昨年から議論してきたフットボールセンター計画、平成22年度中に議決しなければ補助がつかなくなるなど、3月定例会中に執行部から答弁があった。

### いつわりはない

**町長**

しかし、この4月以降もサッカー協会からの予算が継続している。公の議場や公開の席上で議員の質問に対していつわりがあったのか。



【町長】 いつわることうがあつてはならない。あくまでも平成23年度事業に対する補助金であり、翌年度以降には使えない。

### 発言の本意は？

**米本議員**

【米本】 3月定例会でサッカー場建設

### 報道各社が意味を取り違えた

**町長**

の2議案が否決となった。町長は議会后の取材に応じた。テレビや翌日の新聞各社は、「否決した議員はそれ以上の代替え案を」などと、否決した議員が悪いような表現であった。町民も、「町長の言う言葉ではない。おかしいのでは」というような、多くの

声を聞いた。町長の本意はどこにあったのか。【町長】 報道各社の表現に差があった。正確に伝わらなかったのは残念な気持ち。「議会の議決は重いもの、私も重く受け止めるが、議員もその重さを感じてほしい」という意味での一言が取り上げられた。

### 住民投票条例の制定は？

**米本議員**

【米本】 サッカー場建設では、住民説明会でも住民投票を求める意見が出ていた。地方自治法では、施設の建設は対象となっていないが、より町民と行政が一体となるまちづくりには必要なことだと思ふ。今回のサッカー場建

### 先々で考える

**町長**

設計画のように、議会や町民が二分されるようなときには、特に必要だと思ふが考えは。【町長】 法的拘束力もなく、代議制民主主義を形が化しているとの批判もあるが、住民自治条例を制定した後と考える。

### 失語症の認識は？

**米本議員**

【米本】 失語症とは、脳を損傷し言葉の機能を損なう高次脳機能障害

### 脳障害によって起こる

**町長**

の一つ。話すだけでなく、聞く、読む、書くのそれぞれに影響が残る。失語症に対する認識は。【町長】 脳の障害により自分の意図通りに話ができない。また、相手の言葉が理解できない状態と認識している。

【米本】 災害時の対応は。【町長】 失語症での特定はしてないが、災害時の要援護者として障害者も一定基準によりデータベース化している。大規模災害時には、行政だけの対応は不可能に近い。災害弱者のすべてを地域ぐるみで助け合い、支えあう仕組み作りが有効かつ効率的である。

### 定住促進施策は？

**杉谷議員**

### 施策を複合的に実施

**町長**

【杉谷】 平成27年の本町における人口推計は1万6000人となり、総合計画後期基本計画では500人増の1万6500人を見込んでいる。定住施策は、「住んでみたい町」「住み続けたい町」に向けて、町民が安心安全で生き生きと暮ら



大山口駅前の分譲地

せる「元気なまちづくり」の推進が基本である。人口増には「IUTターン対策、分譲宅地対策、空き家・空き地対策、就労対策、子育て環境対策」などで、知恵を絞った大胆で魅力ある定住促進施策の推進が求められる。

また、雇用の創出は本町だけでは限界があるので、西部地区の市町村と連携していきたい。

【町長】 新施策として結婚推進員制度の導入及び空き家活用

策を複合的に実施する。

### 水環境の保全は？

**杉谷議員**

### 将来に向けて重要

**町長**

【杉谷】 本町の伏流水は、大山が噴火した9、2万年前にかけ名和火砕流・弥山火砕流により、大山のすそ野が海岸沖3、4キロまで広がりの海に近いや沖合いで噴出している。

また、季節風による多量の降雪があり、面積が西日本一のブナの森が地下水を涵養し、ミネラル豊富な「おいしい水」の恵みを本町は大山から受けている。



豊かな大山の伏流水

町民の宝である自然豊かで、おいしく安心・安全な大山の伏流水の持続的な水環境の保全が必要である。【町長】 持続的な水環境の保全は、将来に向けての重要な案件であり、地下水の水量保全・採取による水位の異常低下・塩水化及び地盤沈下障害を防止すること

が必要である。鳥取県は、今年中に、一定規模以上の地下水採取に関する条例制定をめざしている。本町では、地下水の供給量や採取量のデータ的な把握をしていないが、今後、地下水の利用について議会と協議し、地下水の保全を検討していきたい。





**【諸遊】** 3月議会の否決を受け、フットボールセンター建設への今の思いは。

**【町長】** 否決は残念だった。提案した者としての責任を痛感している。否決という結果の重みを感じている。



住民による大山北麓活性化検討委員会

諸遊議員

再度山香荘問題をたどす

町長

提言を尊重する

で構成されている検討委員会、また、議会から出る提案の中から、今後の山香荘の活性化をはかるのか。

**【町長】** 検討委員会の提言を最大限尊重する。議会の特別委員会での議論や方向性も検討に入れる。

**【諸遊】** 提案のひとつにフットボールセンター建設があった場合、再度建設を推進されるのか。

**【町長】** 検討委員会からの提言で再度フットボールセンター整備ということになれば、そういう方向性も出てくる。

**【諸遊】** 再度フットボールセンターを推進されるのであれば、町民に信を正すため、町長の職を辞して建設の賛否を問う考えがあるか。

**【町長】** 持ち合わせではない。

岩井議員

大山北麓活性化策は？

町長

意欲の高い人に協力を願う



進ちよく状況は。

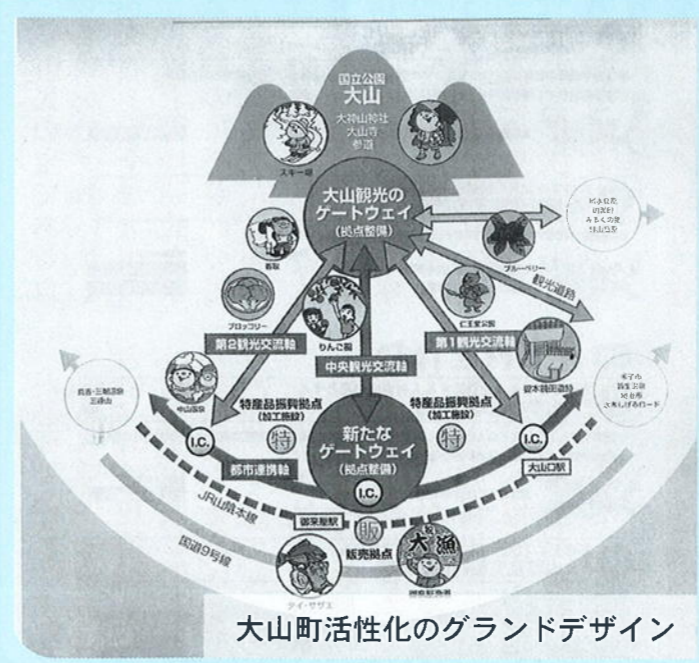
**【町長】** 基本的に新しい発想やすぐれた取り組みの手法の範囲を絞ることは考えていない。活性化の方策は、委員の意向を最大限に尊重して決定する。

**【観光商工課長】** 検討委員会は、5回目まで活発に意見交換が行われている。中心は名和地域休

養施設の今後になるが、あくまでも大山北麓の活性化案の提言があると思っている。

今決めて今行なうべきこと、将来にわたって検討し続けていくことなど、要望を具体化していく。

その中で、県内外を問わず意見を参考にすることがあると考えている。



大森議員

原発災害の対処は？

町長

本町も放射線量を測定する

**【大森】** 原発依存から脱却して再生可能エネルギーへの転換が求められている。エネルギー政策の基本的な考えは。

**【町長】** エネルギー政策は国が責任を持って遂行するもの。震災をふまえた、国の「有識者会議」の動向を注視したい。



大山町から約50km地点にある島根原子力発電所

**【大森】** 原発への認識は。

**【町長】** 放射線量を県西部4地点で定点観測すること。本町でもその測定器を購入する。

**【大森】** 島根原発が事故を起こした場合、原発災害にどう対処されるか。

中電に対して、島根原発の廃止を展望しつつ、原子力安全協定の締結、3号機

の建設中止、プルサーマル計画の中止などを西部町村会や県と連携して求める考えは。

**【町長】** 中電へ西部9市町村の「地域振興協議会」で5月に要望書を提出した。回答はまだない。

**【大森】** 大津波災害や原発災害に備えた防災計画の見直しは。

**【町長】** 本年度中に行う。

大森議員

国保税の納付回数を増やせ

町長

分納制度で対応する

**【大森】** とりわけ滞納が多いのは国保税。「国保税は高くて一度に多くはなかなか払えない。」という声を聞いている。

納付する町民の立場に立つなら、納付しやすいように納付回数を増やすことが大切だ。それが「行政サービス」であるし、町民からの信頼を得ることになる。西部地区では納付回数が4回なのは本町のみで、ほかは8〜10回。本



国保税徴収担当の税務課

町も納付しやすいように回数を増やすべきでは。

**【町長】** 旧中山・名和町では4期納付、旧大山町では10期納付だった。合併協議で新大山町では4期納付になった。

合併から6年、納期は定着している。回数を増やすと、二重納付や督促状の誤送付の発生が予想される。納付回数のみ

では収納率に大差はない。事務が煩雑になるので、現状維持がよい。

4期納付が困難な人には分納の制度で対応している。

**【大森】** 他市町村でできることが本町ではなぜできないのか。

**【税務課長】** できないわけではない。合併協議会での決定がもとになっているということ。